

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	よむとすinいいだ事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	図書館		包含する細々目	1	10	5	5	10	5	0
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり					1	10	5	5	10	2	49,800
施策	28 学習交流活動の推進					1	10	5	5	11	1	19,170
						1	10	5	5	10	1	49,204
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	14	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度 以前に終了 は終了年度とする	
			107844	107000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	市民のあらゆる階層に向けて読書推進活動を行い、広く読書の普及に努め、市民の心豊かな生活を支援する。	図書館体験プログラム受講者数(いきいきりハビリ・職場体験プログラム・特殊コレクション体験プログラム・小・中学生向け講座・PTA向け講座含む)	18目標	3600	最終目標	4000	
			18実績	3680	19目標	3700	↑
			23目標	3800	23実績		最終目標 達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標 達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	平成14年4月から今まで行ってきた読書推進事業全てを「よむとすinいいだ」と体系づけ、保健課との協働事業「いきいきりハビリ」をはじめとして、あらゆる階層に向け図書館利用体験・図書館資料体験・図書館業務体験や児童・生徒への講座・読書団体への支援などを行い、読書推進・図書館利用促進を図る。	1 8 年度 の実績 図書館業務体験/図書館利用体験/貴重資料体験などの体験プログラムの実施を通して、図書館や資料を知ってもらい図書館の利用を活性化させ、自己形成・自己確立・キャリア教育に役立ててもらう。 また、いきいきりハビリ講座や絵本・児童書講座・読書団体支援活動を図書館内外で実施し、心豊かな生活の支援を行う。	図書館業務体験 図書館利用体験 貴重資料体験 お楽しみ会など いきいきりハビリ講座 絵本・児童書講座 図書館まつり参加者	のべ73人 のべ720人 7回123人 約200回 8回(154人) 98回(園児・児童・一般向け)
	1 9 年度 計画 図書館業務体験/図書館利用体験/貴重資料体験などの体験プログラムの実施を通して、図書館や資料を知ってもらい図書館の利用を活性化させ、自己形成・自己確立・キャリア教育に役立ててもらう。 また、いきいきりハビリ講座や絵本・児童書講座・読書団体支援活動を図書館内外で実施し、心豊かな生活の支援を行う。	図書館業務体験 図書館利用体験 貴重資料体験 お楽しみ会など いきいきりハビリ講座 絵本・児童書講座 図書館まつり参加者		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源	0	0	
事業費計(A)	0	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,488	19年度 1,500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	5,321	5,364
	トータルコストA+B	5,321	5,364

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	図書館をより広く深く知ってもらおうことが読書推進と継続的利用者の増加につながり、学びの機会が得られる。	学習交流を行っている市民の割合	現状値	38	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	40
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
図書館はただ単に本を貸し出すだけではより多くの人に利用して貰えない施設であり、読書推進活動を恒常的業務として行ってきた。 「はじめまして絵本、事業を保健課とのタイアップを機に「よむとす」いいた」として事業を体系的に立ち上げる。	図書館が待ちの姿勢で運営する時代ではなく、積極的に資料活用をしてもらうべく、体験プログラム等館内事業だけでなく市内への出張講座に取り組み、市民の知の拠点としての役割を果たす必要がある。	キャリア教育の必要が叫ばれている現在、図書館は世代を担うべきこともたちの良き受け入れ先として歓迎されている。 貴重資料の体験も、高齢者学級や小学校5・6年学級が参加し、好評を得ている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	図書館のPR方法を検討して行く。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	